

第23回北海道こども木工作品コンクールを終えて

企業支援部 技術支援グループ 進藤秀典

■はじめに

林産試験場と（一社）北海道林産技術普及協会および北海道木材青壮年団体連合会との共催で開催している「北海道こども木工作品コンクール」は、毎年、北海道内の全ての小中学校に北海道教育委員会をとおして応募を呼びかけ、木工工作個人の部（造形的作品部門）、同（実用的作品部門）、木工工作団体の部、レリーフ作品の部の4部門について作品を募集しています。

今年のコンクールには、旭川近郊をはじめ宗谷や根室、渡島、檜山など道内各地の小中学校23校から合計382作品の応募がありました。昨年の27校463作品から学校数、作品数とも減少しましたが、初めて応募していただいた学校が11校ありました。

9月9日に美術館や学校教育関係者などによる審査委員会を開催し、部門ごとに最優秀賞、優秀賞、特別賞が選ばれ、最優秀賞には知事賞が授与されました。これらの受賞作品を中心に、今年のコンクールについてご紹介します。

■木工工作個人の部（造形的作品部門）

木工工作個人の部（造形的作品部門）には小学校8校から合計84作品の応募がありました。素材の形や持ち味を生かした作品や素材との偶然の出会いから生まれた面白い作品などバラエティに富んだ作品

が集まりました。

最優秀賞には、自由で大胆な発想が評価された旭川市立神居東小学校2年 多田匠冴さんの「T-レックスの化石」が選ばれました。

優秀賞には、素材の面白さを活かした旭川市立神楽小学校3年 渡辺泰地さんの「木のサイ」と、作り込みが評価された東川町立東川小学校3年 三戸凜音さんの「もりのコンサート」が選ばれました。



「T-レックスの化石」
旭川市立神居東小学校 2年
多田 匠冴さん



「もりのコンサート」
東川町立東川小学校 3年
三戸 凜音さん



「木のサイ」
旭川市立神楽小学校 3年
渡辺 泰地さん

特別賞には、「鳥」（旭川市立神楽小学校3年 藤井璃久さん）、「森のえんぴつ立て」（旭川市立神楽小学校3年 水島嘉子さん）、「バードハウス」（中標津町立中標津小学校4年 篠田叶さん）、「馬」（中標津町立中標津東小学校1年 松本蓮さん）、「以上4作品が選ばれました。

■木工工作個人の部（実用的作品部門）

木工工作個人の部（実用的作品部門）には小学校7校、中学校2校から合計52点の応募がありました。昨年の応募数23点から大きく増加したことから、作品内容の幅が広がり、そのまま実用品として使えるような強度や精度の高い作品も集まりました。

最優秀賞には札幌市立屯田中央中学校2年 加賀谷優心さんの「ドングリの葉の器」が選ばれました。器として使用する際の機能性と作りの精巧さに加え、デザイン性に審査委員から高い評価がありました。

優秀賞には実用性に優れた作品として、中標津町立中標津小学校2年 松田啓汰さんの「小鳥のいえ」と、同校4年 西田莉那さんの「エサ台」が選ばれました。



「小鳥のいえ」

中標津町立中標津小学校 2年
松田 啓汰さん



「エサ台」

中標津町立中標津小学校 4年
西田 莉那さん



「ドングリの葉の器」

札幌市立屯田中央中学校 2年
加賀谷 優心さん

特別賞には「リスのえさ台」（富良野市立樹海中学校2年 後藤翔真さん）と、「折りたたみいす」（中標津町立中標津小学校6年 富永大貴さん）、「貝のかせき」（旭川市立末広小学校3年 伊藤大智さん）、「本だな」（中標津町立中標津東小学校3年 矢萩林檎さん）の4作品が選ばれました。

■木工工作団体の部

団体の部は何人かで協力して作り上げた見応えのある大型の作品がよせられる毎年楽しみな部門です。今年は小学校1校、中学校2校から合計3作品の応募がありました。

最優秀賞には、いろいろな木をつないで素材を作っている点と、種類の異なるペンギンを表現し旭山動物園そのものと言った評価を受けた当麻町立当麻中学校美術部1～3年30名による「集うVII ～北の動物園～」が選ばれました。



「集う VII ~北の動物園~」

当麻町立当麻中学校 美術部1~3年 30名

優秀賞には濁川らしさが感じられ、チームワークで楽しく作った作品との評価を受けた滝上町立濁川小学校1・2・3・4・6年15名による「濁川チックなアスレチック」が選ばれました。



「濁川チックなアスレチック」

滝上町立濁川小学校 1・2・3・4・6年 15名

特別賞にはチーム名「まっくすきっず4」（留萌市立東光小学校4年 山田雫さん、倶知安町立北陽小学校4年 堤心優さん、米坂彩泰さん、大津市立瀬田北小学校4年 羽間柚奈さん）の「森の遊園地」が選ばれました。



「森の遊園地」

まっくすきっず4

留萌市立東光小学校 4年 山田 雫さん
倶知安町立北陽小学校 4年 堤 心優さん
倶知安町立北陽小学校 4年 米坂 彩泰さん
大津市立瀬田北小学校 4年 羽間 柚奈さん

■レリーフ作品の部

この部門は林産試験場で開発した「アート彫刻板」を使って作品を制作してもらいます。この彫刻板は、赤色の顔料を加えた接着剤で数枚の単板を貼り合わせた合板で、彫り方によって赤い接着層が様々な模様となって現れます。

今年は小学校1校、中学校7校から合計240作品が集まりました。

その中で最優秀賞に選ばれたのは、彫り込み、構図、立体感に優れ、材料の特徴である赤色と白色の対比を活かしている枝幸町立枝幸中学校2年 工藤輝南さんの「向日葵」でした。



「向日葵」

枝幸町立枝幸中学校 2年
工藤 輝南さん

優秀賞にはギザギザの迫力が評価された枝幸町立枝幸中学校2年 河野涼太さんの「捕食」と、ワニが生き生きしている点が評価された当麻町立当麻中学校1年 大久保翼さんの「獲物を狙うワニ」、小学生の作品としては秀逸との評価があった小樽市立幸小学校6年 淡路弓侑さんの「吼える虎」が選ばれました。



「捕食」
枝幸町立枝幸中学校 2年
河野 涼太さん



「吼える虎」
小樽市立幸小学校 6年
淡路 弓侑さん



「獲物を狙うワニ」
当麻町立当麻中学校 1年
大久保 翼さん

特別賞には「こちらをにらむヒョウ」（小樽市立幸小学校6年 久米田飛雅さん）、「モミジ」（小樽市立幸小学校6年 高田健太郎さん）、「アメーバ」（枝幸町立枝幸中学校2年 木浪涼七さん）、「自然」（共和町立共和中学校2年 田村淳衣さん）、「夕やけと海」（上ノ国町立上ノ国中学校2年 鈴木花恋さん）、「シロハラ」（当麻町立当麻中学校2年 菅原悠花さん）、「ハナミノカサゴ」（当麻町立当麻中学校1年 林港人さん）の7点が選ばれました。

■コンクールを終えて

このコンクールは「日常あまり手にすることのない木工道具を使用し、想像力を生かして一つの作品に仕上げるといった体験を通して、子供たちの木材や樹木への興味を育み、木工技術の向上を図る」ことを目的としています。

今年のコンクールは作品数は少ないながらも作品内容は充実し、審査委員からも「今まで見たことのない造形や木の使い方が見られ興味深く拝見した」、「たくさんの力作が揃っていて楽しんで審査させていただいた」との声が聞かれました。

今後とも多くの学校に参加していただき、より内容豊かなコンクールとなるよう検討を重ねていきたいと考えております。

なお、今年も9月12日～10月4日まで、当場の「木と暮らしの情報館」において、コンクールの全応募作品を紹介する「第23回北海道こども木工作品コンクール展」を開催し多くの方に作品をご覧いただきました。